

コロナ報告数が急増、定点当たり報告数は前週の1.4倍に：日経メディカル

Clip source: [コロナ報告数が急増、定点当たり報告数は前週の1.4倍に：日経メディカル](#)

NEWS◎2023年も夏に大きな流行ピーク コロナ報告数が急増、定点当たり報告数は前週の1.4倍に

2024/07/13

[宇佐美 知沙](#) = 日経メディカル

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行が本格化してきた。2024年7月12日に厚生労働省が発表した速報によると、2024年第27週（7月1～7日）の定点当たり報告数は8.07で、前週の5.79から約1.4倍となった。都道府県別に見ると、九州地方での定点当たり報告数が多く、沖縄県が29.92と最多だった。

COVID-19が5類の定点把握対象疾患となった、2023年第19週（5月8～14日）以降の定点当たり報告数の推移は図1の通り。2024年のゴールデンウィーク以降じわじわと増加していたが、7月に入り勢いを増した。9月に最大のピークを迎えた2023年の動きと近く、これから真夏にかけて警戒する必要があるようだ。

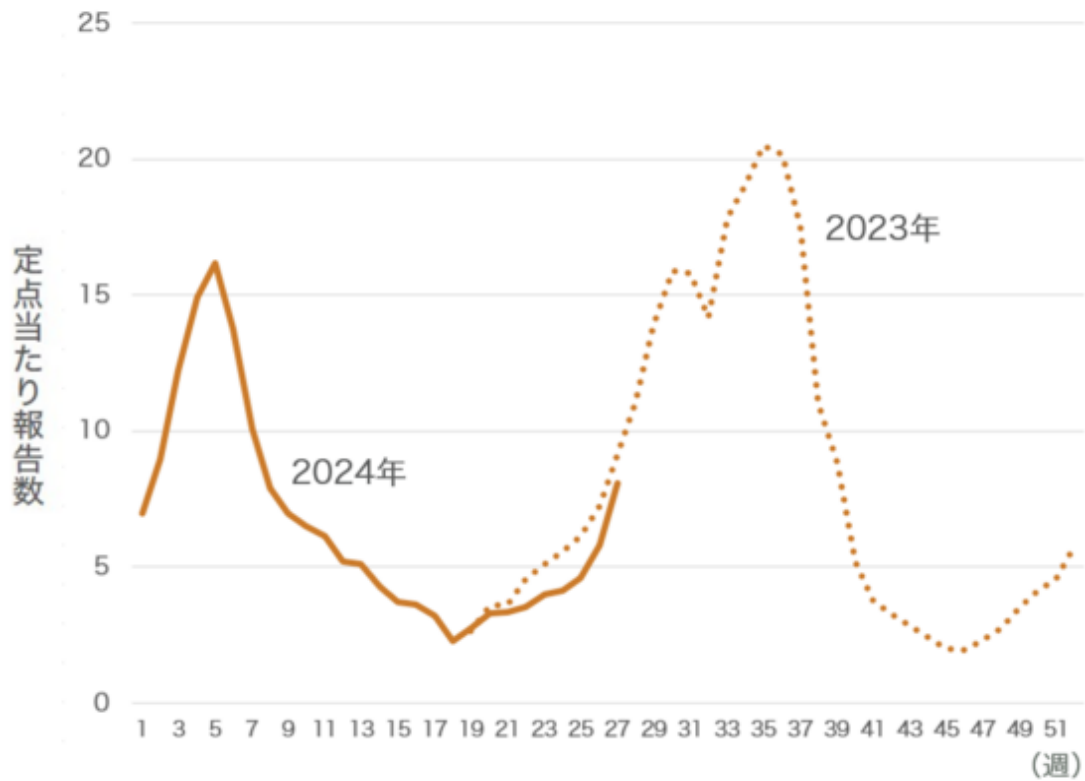


図1 COVID-19の定点当たり報告数の推移

(国立感染症研究所などのデータを基に編集部作成、図2、3も)

都道府県別のデータでは、九州地方の全ての県で10以上となり、鹿児島県では23.13、沖縄県では29.92だった(図2)。関東地方でも千葉県で10.91と10を上回った。

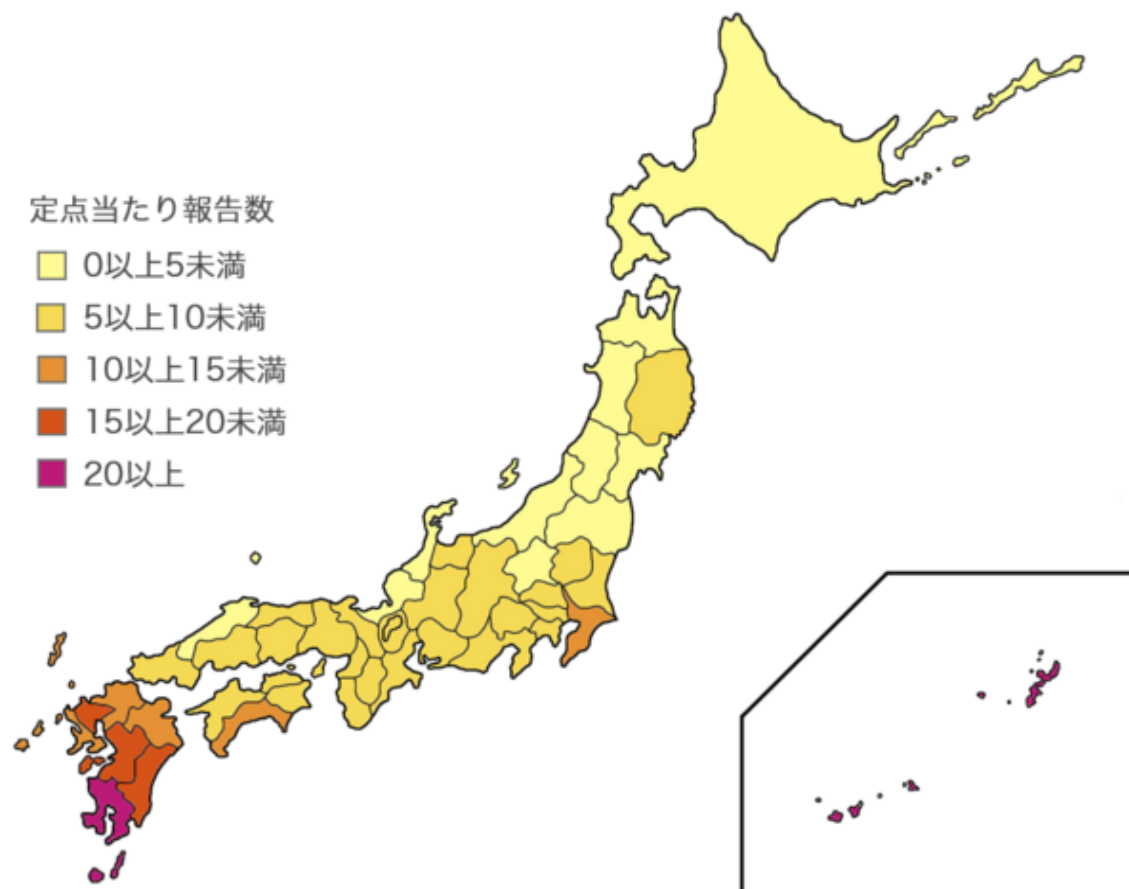


図2 COVID-19の定点当たり報告数

(都道府県別、2024年第27週)

報告数の増加に伴い、COVID-19による入院患者数（基幹定点医療機関〔約500施設〕からの届出数）も上昇（図3）。2024年第27週では2340人と、前週の1708人から約1.4倍に増加した。

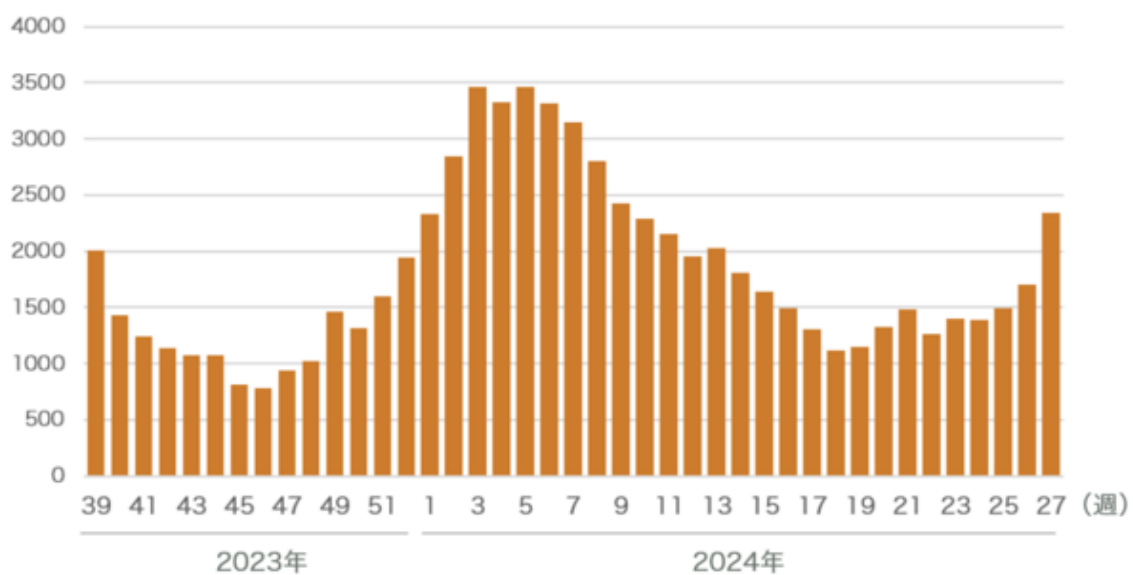


図3 基幹定点医療機関から報告された、COVID-19による入院患者数の推移

2024年第22～25週（5月27日～6月23日）の、民間検査機関の検体によるゲノムサーベイランスでは、オミクロンの亜系統であり、世界保健機関（WHO）から「注目すべき変異株（VOI）」に指定されているJN.1系統とその亜系統（KP.3系統を含む）が約80%を占めている。

- 1